

五所川原市人口ビジョン（案）及び五所川原市まち・ひと・しごと 創生総合戦略（案）についての意見募集結果について

市が実施しました五所川原市人口ビジョン及び五所川原市まち・ひと・しごと創生総合戦略策定にあたっての意見募集に対し、ご意見をいただき、誠にありがとうございました。いただいた意見の概要とそれに対する市の考え方は下記のとおりです。

記

1 意見募集期間

平成27年9月1日から平成27年9月30日まで

2 募集方法

市のホームページ (<http://www.city.goshogawara.lg.jp/>) に案の概要等を掲載したほか、市企画課、市役所・各総合支所行政資料スペースに備え付けました。

意見提出は、郵送、電子メール、FAXのいずれかの方法によることとし、提出言語は日本語としました。

意見提出にあたっては、提出者の氏名・住所（法人等の場合は、その名称・事務所所在地等の連絡先・代表者名）の明記を条件としました。

3 提出された意見

1人の方から延べ4件の意見をいただきました。その反映状況は次のとおりです。

文章修正等	記述済み	実施段階検討	反映困難	その他	合計
0件	0件	0件	0件	4件	4件

「文章修正等」・・・本文の修正、記述の追加等意見を反映させるもの。

「記述済み」・・・既に記述済みのもの。

「実施段階検討」・・・計画の実施段階で検討又は対応すべきもの。

「反映困難」・・・反映が困難なもの。

「その他」・・・質問や感想。施策の体系外への意見。

意見の内容とそれに対する市の考え方及び意見を考慮した結果決定した案は、次のとおりです。

(提出された意見の内容とそれに対する市の考え方)

No	頁	施策名等	提出された意見の内容	市の考え方
1			<p>1. 市総合計画のダイジェスト版の感がし、総花的で建前論が多い。限られた時間、資金で何を重点とするか見えない。</p> <p>2. そもそも一市町村で人口減少は解決できない。存続できない地区の発生は已む得ない市民の覚悟必要。</p> <p>3. 地域経済を支える産業のあるべき、目指す姿が見られない。基幹産業である農業の抜本策は如何に。認定農業士で決まるの？</p>	<p>1. 国が「まち・ひと・しごと創生」で示した人口減少と地域経済縮小の克服をはじめとする基本的な考え方と総合計画によるまちづくりの方向性が合致していることから、総合戦略は、総合計画に掲げる、若者の定住促進、交流増、元気健康づくりの3つの政策を柱にしています。</p> <p>2. 人口減少社会の到来という大きな課題に対し、様々な分野への影響を都度考慮し、短期・中長期的に施策を推進していく必要があります。</p> <p>現在、諸課題に向けて、圏域自治体が連携しての取組を進めていますが、施策推進にあたっては、官民はもちろん、あらゆる主体が知恵を絞り、実行していくことが重要と認識しています。</p> <p>3. 認定農業者数は重要業績評価指標(KPI)として掲げています。農業に関してはTPP問題や後継者不足など、大きな課題を抱えています。国の動向を注視しながら、今後も農業をはじめとする地域産業の振興に取り組めます。</p>

		<p>4. 他の地域（国内外）との競合に伍して行ける官・民を含む人・資金の組織体制の整備不可欠。 以上</p>	<p>4. 他地域との競合という捉え方もありますが、つがる西北五広域連合による自治体病院の再編成や西北五環境整備事務組合による廃棄物処理などの既存の取組に加え、福祉や教育の連携をはじめとする近隣自治体との連携した取組を進め、圏域全体で持続可能な地域形成を目指します。</p>
--	--	---	---

担当	五所川原市財政部企画課
電子メール	kikaku@city.goshogawara.lg.jp
電話	0173-35-2111 内線2152
FAX	0173-35-3617